

教育行政報告

次に、最近の教育行政について報告いたします。

○ 平沢小学校・院内小学校統合準備委員会について

令和10年4月の平沢小学校と院内小学校の統合に向け、様々な課題の抽出と保護者や地域が持つ不安などを明らかにし、その対応について協議・検討を行い、子ども達が安心して学校生活を送れるよう準備を整えていくため、平沢小学校・院内小学校統合準備委員会を発足しました。委員の構成は、両校の校長と教頭のほか、保護者や地域の視点が重要であることを鑑み、PTA正副会長、学校運営協議会会長、今後入学を控えている保育園と子ども園の保護者会会長、仁賀保地域学校区の4地区会長会の代表の20名としております。1月27日に金浦公民館において、第1回目の準備委員会を開催し、正副委員長を選出したほか、組織体制や今後のスケジュール確認を行っております。また、主要な調整事項である統合校の学校名、校章、校歌の取扱いの協議では、院内小学校の持つ歴史、文化、特色ある地域性を尊重し、それらを可能な限り取り入れた学校経営が図られるよう調整を行っていくことを前提に置いたうえで、平沢小学校のものをそのまま継承して使用することが全会一致で承認され、合意事項として決定しております。

今後は、3つの部会において、教育課程をはじめ、年間行事、通学方法、PTA規約などの調整や必要な施設整備の協議を進めて参ります。また、両校の保護者の皆様にも機会を設け、会議の進捗状況や決定事項について周知して参ります。

○ 公立高校等の入試状況について

秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査は、特色選抜および一般選抜ともに3月4日に実施されます。自身の進路を実現させるために努力を積み重ねてきた生徒たち全員が、笑顔で春を迎えられることを切に願っております。

○ 子どものつどいについて

公民館では、冬休み中の小学生を対象に「子どものつどい」を実施いたしました。

今年度は、初めて仁賀保地域と金浦地域を合同で開催し、1月7日、会場の金浦公民館に74人の児童の参加がありました。地域で活動する方々から紙飛行機づくり、ポーセラーツなどを教わったり、卓球、ミニテニス、ピアノなどを一緒に楽しみました。住む地域が違ってもすぐに打ち解け、仲良くなる様子が窺えました。9日の象潟公民館には48人の児童が参加し、雪の結晶の切り紙づくりをした後、人気テレビ番組の「逃走中」を模した鬼ごっこを建物全体を使って行い、全員が元気よく楽しんでいる様子がみられました。

この事業は、地域住民と子どもたちの貴重な世代間交流の場として、また、新たな体験ができる機会としています。今後も、各小学校間の交流がより深まるよう、更に工夫を重ねながら継続して参ります。

○ にかほ市二十歳を祝う会について

「令和7年度にかほ市二十歳を祝う会」は、対象者253人のうち167人の参加のもと、1月11日、ホテルエクセルキクスイを会場に開催しました。友人や恩師との再会を喜びあう姿が非常に印象的でありました。今年度の対象者総数に対する式典出席率は66.0%と、昨年度より6.2%、25人減少していますが、これは対象者に市外からの転入者が多いためであり、市内3中学校の卒業者に絞った出席率では78.6%と、昨年を若干上回る出席率でありました。

アトラクションでは、式典対象者の小中学校時代の姿をスライドショーで上映したほか、今年度、活動20周年を迎えた超人ネイガーによるパフォーマンスで、会場内は大いに盛り上がりました。最後は、来場者全員で集合写真を撮影するなど、和やかに会を終えることができました。

○ 白瀬中尉をしのぶ集い・雪中行進について

白瀬南極探検隊が到達点の一带を大和雪原と命名した1月28日に因んだ、第59回雪中行進を開催しました。凜烈の中での行進でありましたが、途中、沿道からの声掛けや勢至保育園児の声援に温かみを感じながらも、白瀬中尉の偉業に思いを馳せ、2.5kmを行進しております。

金浦小学校5・6年と金浦中学校1年の児童生徒のほか、自衛隊や白瀬顕彰会等の関係者および市民の方々を合わせ169名の参加がありました。

○「鳥海山北麓獅子舞番楽」の国指定重要無形文化財答申について

1月23日、「鳥海山北麓獅子舞番楽」を国指定重要無形民俗文化財とするよう文化庁文化審議会から文部科学大臣に答申がなされました。後の官報告示を経て、正式な指定となります。

これは、「鳥海山北麓」というひとつの文化圏において、本市の伊勢居地番楽、釜ヶ台番楽、冬師番楽、鳥海山小滝番楽、鳥海山日立舞の5団体と由利本荘市の3団体が守り伝えてきた姿勢が認められたものであります。

正式に指定された後の、本市における国の重要無形民俗文化財は、平成10年指定の「上郷の小正月行事」、平成16年指定の「小滝のチョウクライロ舞」に続く3例目となります。

このたびの国指定となることで、各保存会の後継者確保への足がかりとなるほか、市民の郷土愛の醸成とシビックプライドが高まっていくことが期待されます。

今後も国・県の指導、協力を得ながら、各保存会とともに地域文化の継承に努めて参ります。

○親子ふれあい体験教室について

2月8日、金浦公民館において、市内小学校の親子を対象に「親子ふれあい体験教室」を開催し、延べ親子12組24人の参加がありました。

生涯学習奨励員が講師となり、指先を使った脳トレとされる健康マージャンを行ったほか、アンティーク風のしおりやレジンアクセサリー作り、薫のミニほうき作りなどを体験しました。

親子での体験活動を通して強い信頼関係を築き、子育ての手ごたえと自信を高めることで家庭での教育力向上を図ることを目的として今後も開催して参ります。

○由利本荘市・にかほ市公民館連合会主催講座について

3月14日、由利本荘市文化交流館カダーレにおいて「楽しみながら学ぶ地

域防災」と題して、生涯学習講座を開催いたします。日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部介護福祉学科講師の及川真一氏により、地域で守る防災について講演をいただきます。講師は、2024年豪雨災害において本市でのボランティアセンター派遣に対しサポートをいただいているほか、専門分野はアウトドア防災や防災キャンプなどでありますので、より現実的な体験講座として楽しみながら学べる内容となっております。